

通し番号	4 5 2 1
------	---------

分類番号	22-77-21-25
------	-------------

(成果情報名) 飼料用粳米の給与による産卵用ヒナの消化管の特性等の調査	
[要約] 飼料用粳米(以下、粳米)を初生時から鶏ヒナの食性に任せて自由に給与して、消化管の特性等について調査した。粳米の嗜好性は良く、自由に給与すると体重が軽くなるが、栄養補正をした粳米配合飼料を49日齢以降に給与すると、97日齢以降には育成用配合飼料のみを給与した場合と体重が同程度になる。また、筋胃の重量は重く消化管の発育が良い特性がある。	
(実施機関・部名)	神奈川県農業技術センター畜産技術所 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

育成期からの飼料用粳米(以下、粳米)給与による産卵鶏の生産性等を調査し、効果的な粳米の給与方法を検証する。

[成果の内容・特徴]

- 1 粳米、育成用配合飼料、大豆粕及びコーングルテンミールを、育すう期の0~48日齢に、初生時から鶏ヒナの食性に任せて自由に選択させて給与し、粳米等の摂取量、消化管の特性等を調べる。また、49~125日齢は市販飼料(育成飼料、大豆粕等)に粳米30%を配合し大豆粕等により粗蛋白質含量を補正した飼料を不断給与する。
- 2 体重は、粳米区、粳米+単味区とも対照区と比較して、体重が70日齢までは軽く推移するが、97日齢以降は区間に有意な差はない($P < 0.05$) (図1)。
- 3 自由選択給与した粳米を摂取割合は、0~6日齢時に粳米区では65%、粳米+単味区では55%と、粳米の嗜好性は育成用配合飼料と比べて高い。その後、日齢が増すと摂取割合は両区とも減少し、28~48日齢時には粳米区で29%、粳米+単味区では42%となる(図2)。
- 4 消化管(十二指腸~直腸)の長さ(cm)の体重(g)割合は粳米区が大きく対照区が小さい($P < 0.05$)。また、粳米区、粳米+単味区は、対照区と比較して筋胃重量(g)の体重(g)割合が大きく($P < 0.05$)、筋胃内容物のpHが低い($P < 0.05$) (表1)。

[成果の活用面・留意点]

通常、粳米は市販飼料に配合して成鶏期以降に給与されている。今回の試験は、初生ヒナから自由に給餌した場合の育成期での成績である。本試験で認められる消化管の特性等が産卵成績にどのような影響を及ぼすかについて調査する必要がある。

[具体的データ]

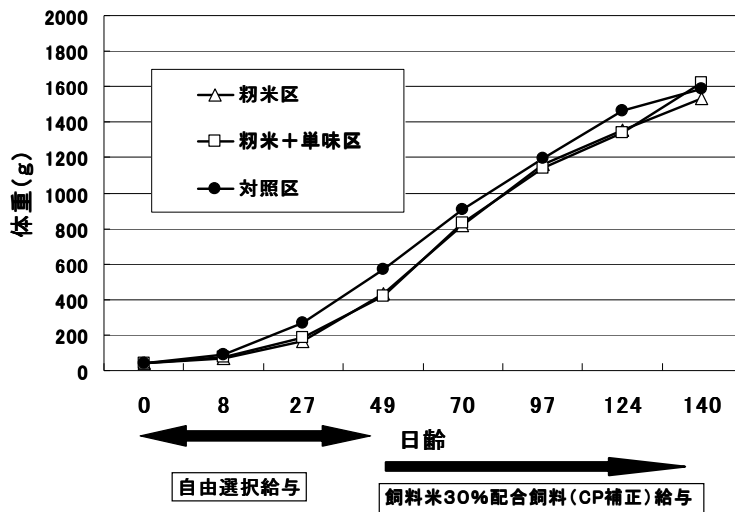


図1 体重の推移

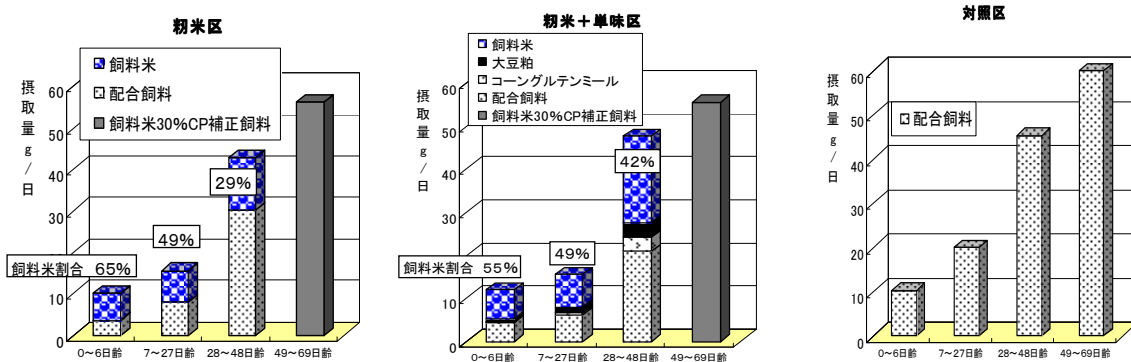


図2 飼料摂取量、粗米の摂取割合

表1 解剖検査 (27、48、70、97、125 日齢)

	粗米区		粗米+単味区		対照区	
消化管 (十二指腸~直腸) 長さ cm/体重 g (%)	21.5	b	21.3	a b	18.6	a
筋胃重量 g/体重 g (%)	3.2	b	3.4	b	2.4	a
筋胃内容物 pH	3.8	a	3.6	a	4.0	b

※同一項目内において異符号間に有意差あり (P<0.05)

[資料名] 平成 22 年度試験研究成績書

[研究課題名] 採卵鶏への飼料用粗米の給与方法の検討

[研究期間] 平成 22~23 年度

[研究者担当名] 平原敏史

(共同研究：東京農業大学)